

遺伝カウンセリング記録 について考えるセミナー

参加費
無料

ー教育の視点とがん医療の現場からの知見を交えてー

がん研究会有明病院では、これまで職員向けにGene Awarenessミーティングを開催し、遺伝性腫瘍に関する情報発信を行ってまいりました。今回は遺伝診療に関わる、院外の医療関係者の皆様と一緒に、日々の遺伝カウンセリング記録”を振り返り、学びを深める機会といたしたく企画いたしました。それぞれの医療機関での課題や工夫を共有する場となれば幸いです。ぜひお気軽にご参加ください。



日時

2025年10月7日(火) 17:30-18:40

形式

ZOOMミーティング

申込フォーム



受付締切：10月6日
お申込み状況により、
締切が早まる可能性があります。

対象

遺伝診療に関わる、あるいはこれから関わる
予定の学生、遺伝カウンセラー、看護師など
医療関係者

講師



植木 有紗 先生

がん研究会有明病院
臨床遺伝医療部 部長

当院における遺伝カウンセリング
記録：保管と共有、目指す内容

- 総合ディスカッション（20分程度）



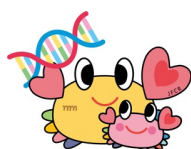
三宅 秀彦 先生

お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科
ライフサイエンス専攻
遺伝カウンセリングコース/領域 教授

遺伝カウンセリングの記録を
どうまとめるか

お問い合わせ がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部

rinshoiden@jfcr.or.jp



主催：がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部/Gene Awarenessプロジェクト

本シンポジウムは、日本癌治療学会／ファイザー株式会社 「がんゲノム医療に関する環境整備を推進する為の取り組み」プロジェクトから研究助成を受けています。